

学校教育目標 「よく学び 心豊かで たくましい児童の育成」

◇本年度の取組重点

- ①どの子にも面白く分かりやすい授業をめざし、基礎基本の習得とそれらを活用して「思考力・判断力・表現力」の育成を図る（特にすべての学習の基盤となる読み・書き・計算力の確実な定着を図る）。
- ②学校生活全般（特に授業の中）にも生徒指導を取り入れることで、いじめ・不登校のない学級・学校を目指す。
- ③インクルーシブ教育システムの理念をふまえ、特別支援教育の推進に向け、職員の校内支援体制の一層の工夫・充実を図る。また、ノーマライゼーションの考えを育むよう努める。
- ④「落合小生活のきまり」「落合小学習のきまり」を学校生活の基に据える。また、児童会が作った「落合小こびっとルール」に全員で積極的に取り組む。
- ⑤読書・辞書利用・家庭学習を包括した学習習慣の育成を図る。特に、明快な「学習の仕方」を身につけさせ、学習に主体的に取り組む力を高める。
- ⑥体育・食育を重視し、生涯を通じて健康な生活を送るために必要な運動習慣、食習慣、衛生習慣を育成する。
- ⑦児童会活動を通して、より良い学校生活づくりのために協力して諸問題を解決していく力を育成する。
- ⑧「地域ふれあい道徳事業」「小笠原流礼法を活かした心の教育推進事業」「いじめ・不登校未然防止推進事業」に積極的に取り組み、場こふさわしい行動・あいさつができるようにする。
- ⑨安全教育・安全管理を計画的に行い、「自分の身は自分で守る」知恵と力を育てる。
- ⑩情報を積極的に発信・受信し、家庭・地域・関係機関との連携を深め、より「開かれた学校づくり」を推進する。

\*落合小学校教職員による自己評価は、【A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない】の4段階評価で実施し、【A：4点、B：3点、C：2点、D：1点】としてその平均点をポイントとして算出した。

I 全体評価

本年度前期の自己評価結果は、総合的に見ると多くの質問内容で、肯定的な回答が大勢を占め、総じて評価は高い。

いずれの項目においても、肯定的な意見が100%かそれに近い結果であった。

特に、「学校教育目標」、「学校経営・組織」については、平均ポイントが3.7ととても高く多くの教職員が高く自己評価をしている。

《評価内容と肯定的な評価の割合、ポイント》

- 1 「学校教育目標」 ①～④ (A・B：100%)、3.7ポイント
- 2 「学校経営・組織」 ⑤～⑩ (A・B：100%)、3.7ポイント
- 3 「学習指導・生徒指導」 ⑪～⑯ (A・B：100%)、3.5ポイント
- 4 「地域との連携」 ⑰～⑳ (A・B：98.8%)、3.5ポイント
- 5 「学校の特徴」 ㉒～㉔ (A・B：100%)、3.6ポイントとなっている。

## II 各項目の評価結果（達成状況・改善策）

### 1 「学校教育目標について」

#### 達成状況

- ・全ての項目において、肯定的評価が100%であった。ポイントもすべて3.6以上になっている。
- ・「教育目標・経営構想に向けて、職員がそれぞれの立場で取り組んでいる。」「職員全員で取り組んでいる。」「児童に関する日常の話題を職員で共有する雰囲気がある。」など意見が出され、学校教育目標の具現化に向けて、教職員が協働して教育活動を行えていると言える。

#### 改善策

- ・「大きな成果を上げている内容がある、一方で、コロナ感染症対策等のため、全てが計画通り行われていないところがある。」「学年の始めだけではなく、年間を通してスクールプランを意識していかなくてはならない。」の意見にあるように、日々の教育を教育目標・経営構想の実現に成果があるか目標を明確にし、評価・見直しを行う必要がある。取組として、各行事の評価を確実に行うこと、またその方法として、職員会議・終礼などの対面で反省はもちろんのこと、ICTや紙媒体の利用など個々の時間を有効に使える方法により、PDCAサイクル（計画・実施・反省・行動）を確実に行っていきたい。

### 2 「学校経営・組織について」

#### 達成状況

- ・すべての項目において、肯定的評価が100%であった。ポイントもすべて3.5以上になっている。
- ・「校務分掌については、各自が自分の果たすべき内容に対してしっかり取り組んでいる。」「分からないことがあっても、近くの先生方に相談すると、的確なアドバイスをもらえている。これからも、組織全体で取り組んでいきたい。」の意見があり、各学年全て単級という条件の中で、それぞれの教職員が自らの役割を果たすとともに、相互に協力し組織的な活動ができていることが分かる。
- ・「相談・連絡・報告」（3.8ポイント）と「安全点検」（3.8ポイント）がしっかり行われ、本校の安全に結びついている。また、大規模改修工事が体育館・校舎・校庭と全て終わり、よい環境で教育活動を行えている。
- ・計画した避難訓練は、計画通りに行われている。

#### 改善策

- ・会議の精選については、一昨年度以降大幅に実施された。今後は、形骸化を防ぎつつ、効率的に進めるための資料・情報の共有、提案方法など改善を進める。
- ・避難訓練については、地震、火災を想定した訓練の他、洪水や噴火などを想定した訓練を実施していく。すでに多くの対策を行っているが、熱中症や豪雨など予想される危険に対して、マニュアルの整備や訓練を確実に行っていきたい。

### 3 「学習指導・生徒指導について」

#### 達成状況

- ・すべての項目において、肯定的評価が100%であった。ポイントは、ばらつきがある（3.2～3.9）。
- ・「落合小学校独自の活動を継続的に取り組めており、この姿勢を続けていければよい。」「落合小学校の子どもたちは落ち着いて学校生活を送れている。」の意見の通り、多くの児童は授業や休み時間・給食など、楽しく学校生活を過ごしている。

- ・「児童会活動を通して、より良い学校生活づくりのために協力して諸問題を解決していく力を育成している」については、3.9 ポイントと高く児童会を中心に全校がより良い学校づくりに向かっていることが分かる。
- ・「通常学級と特別支援学級と連絡を密に取り進めることができている。」「特別支援学級どうしや交流学級、保健室、管理職の先生方まで支援体制を取っていただき児童の指導に当たっている。」の意見があり、全教職員で児童一人一人の教育に向き合っている。
- ・分かりやすい授業・基礎基本の「習得・活用」「思考力・判断力・表現力」の育成については、全員が肯定的な評価だがポイントは 3.2 なり、教職員のさらに向上を求める意識と、忙しい日々の中、授業の改善や準備の必要性・重要性が分かる。
- ・「読書習慣、辞書利用習慣、家庭学習習慣を含めた学習習慣を育成」については、教職員の自己評価だけでなく、保護者・児童でも評価が低く、課題となっている。

#### 改善策

- ・「本校の「落合小学校のきまり」という立派なルールがあるので、各クラスで徹底して取り組んでいけるとよい。」とある通り、児童とともにルールを確認して、より良い伝統を守りつつ、コロナ禍の学校生活を安全に楽しく過ごすため、児童会と共に活動を進めていく。
- ・家庭学習の習慣含めた学習習慣作りについては、日々の授業との関りを含め、今後も全校態勢で研究を進める必要がある。また、特にタブレット端末の家庭での活用の在り方などは、保護者の理解や協力を得て、試行錯誤を繰り返しながら本校なりの実践へつなげていきたい。

### 4 「地域との連携について」

#### 達成状況

- ・⑱～㉑の項目において、肯定的評価が 100%であった。ポイントは、3.3～3.5 となった。
- ・「保護者の理解・協力の様子がとてもよく児童が落ち着いた様子で授業に取り組む姿勢が見られる。」「通学路点検や引き渡し訓練、八王寺社の祭りの巡回など、保護者の協力があり、目的に即した活動ができている。保護者のご協力に感謝したい。」「登下校の時に多くの保護者の方に協力していただいている、有難い。」など、保護者や地域の方々の理解・協力が本校の教育活動の支えになっていることが分かる。
- ・開かれた学校づくりのために、学校だより・学年だよりを通じて、情報の提供地域や家庭の願いを把握して、学校の取り組みに活かすことや良好な関係づくりの大切さにしていることが分かる。
- ・コロナ禍の中でできる連携ができている。一方で、コロナ前に比べ、児童との交流活動が制限され、保護者・地域の方々の協力を求められないなどが課題となっている。

#### 改善策

- ・今後も「学年だより」「学校だより」等により学校からの情報発信を増やすとともに、学校評価のアンケートや個別懇談だけではなく、保護者や地域の感想や意見を受信・再発進する機会・（期間）や仕組みを考えていく。
- ・保護者や地域の意見に丁寧に対応することで、信頼される学校づくりを推進する。
- ・昨年同様に、コロナ禍頃中で、落合すももの里応援団を中心とした地域の人材や施設を活用する機会が持てなかった。これからは、地域の教育力を生かしていくと同時に、学校のことを知っていただき、学校側も地域のことを知るようにしたい。

## 5 「学校の特色について」

### 達成状況

- ・すべての項目において、肯定的評価が100%であった。ポイントは、3.5以上になっている。
- ・「落合小学校ならではの学習が地域の方や講師の方の協力によって、成り立っている。」「郷土のほこりは、各学年の様々な教科等で行っている。それを継続して途切れることのないように教育課程に取り込まれている。」との意見にあるように、地域人材・保護者との連携や地域の豊富な教材（文化や歴史、自然や農業など）が本校の特色のベースになっている。
- ・教育目標・経営構想の具現化に向けて、行事の精選とカリキュラムマネジメントの兼ね合いをはかるためにも、教職員全員で、「何が学校の特色なのか」を定期的に明確化することが重要になっている。

### 改善策

- ・地域と連携した学習活動を、これからものばしていきたい。
- ・落合小学校独自の学習を教育課程に明示するとともに、確実に実践する。同時に、学年間で内容が重複している内容は精選、コロナ禍での実施を踏まえた行事の見直しなど、より確実なカリキュラムマネジメントを実施する。
- ・特別支援教育は本校の特色の一つである。また、通常学級においても、個に応じ特性に応じた指導について研修・実践を深め、実践力を身につけていくとともに、学びやすい環境も整備していく。